

障がいのある方の雇用に取り組む

株式会社タカソノリーフス(木津川市)

「京都はあとふる企業」です

◆主な事業内容：親会社製品の一部部品のリユース業務、修理部品の管理業務

【障がいのある方が従事している仕事】
リユースするための部品の仕分け、洗浄、チェック、箱詰め等の作業



【障がい者雇用の経緯】

- ・2008年以前は、親会社での障がい者雇用枠はありませんでした。医療機器メーカー・健康産業である会社として雇用率の確保とともに社会的貢献が求められました。
- ・仕事の切り出しや場所の問題もあり、特例子会社を設立することになりました。2008年会社設立、当初は社長以下5名でスタートし、2009年7月に特例認定を受けました。
- ・現在、障がいのある従業員11名を含めて23名となっています。

【特例子会社として】

親会社で販売した部品をリユースするための業務や簡単な組立作業を親会社から受注し、完成したものを納品し、その対価により企業として運営しています。親会社の理解と協力があってこそ雇用を継続できます。

その中で、働くことへの喜びや達成感のある職場環境を作ることにより、従業員の成長と将来の自立が生まれると考えています。

【とくに工夫していること】

- ・数回の実習とトライアル雇用を経て、正社員として採用しています。
- ・仕事は固定せず、各自の特性に配慮した上で、作業のローテーション化を行っています。これが、将来への自立に向かう際の目標を立てることに役立っています。
- ・家族や支援者を含む年2回の面談や「社会人としての振る舞い」を身に付けるための社外研修旅行(工場見学や体験等)、職場見学会(家族、支援者等)、セミナー、BBQ大会、忘年会などを行っています。
- ・体調や健康管理は朝礼等で把握しています。

【Oさん、Yさん、Kさんに聞きました】

- ・2年目、やさしい人が多い。作業も慣れてきた。働き続けたい。休日は友達と買い物やBBQで楽しみます。(Oさん)
- ・9年目、毎日充実しています。このメンバーですと働きたい。韓国への旅行が目標です。(Yさん)
- ・10年目、後輩も出来て楽しい。20年、30年働けるように頑張りたい。週3回ジムに通っています。(Kさん、2013スペシャルリビクス冬季大会・ダリスト)

